

令和 元 年度

天草市各財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

天草市監査委員

目 次

ページ

令和元年度天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見書	4
令和元年度天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算審査意見書	7

天監第69号
令和2年8月6日

天草市一町田財産区管理者
天草市長 中村 五木 様

天草市監査委員 富田 善三郎

天草市監査委員 福岡 耕二

天草市監査委員 赤木 武男

令和元年度天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和元年度天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算書及び同附属書類を審査しましたので、天草市監査基準第14条第4項の規定に基づき意見を提出します。

令和元年度天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

令和元年度天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算
 令和元年度天草市一町田財産区特別会計実質収支に関する調書
 令和元年度天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算事項別明細書
 令和元年度天草市一町田財産区財産に関する調書

2 審査の期間

令和2年6月26日から令和2年8月6日

3 審査の方法

審査にあたっては、天草市監査基準(令和2年天草市監査委員告示第1号)に準拠し、天草市一町田財産区管理者(天草市長)から提出された、天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算書、同実質収支に関する調書、同歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているか、財産の管理は適正か、さらに予算が適正かつ効率的に執行されているか等に主眼をおき、関係諸帳簿及び証拠書類との照合等を行い、審査を実施した。

4 審査の結果

審査に付された天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算書、同実質収支に関する調書、同歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書は、関係法令に適合し、かつ正確に作成されており、決算計数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

5 歳入歳出決算の概要

(1) 決算収支

(単位：円)

区 分	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
令和元年度	11,063,732	618,199	10,445,533	0	10,445,533
平成30年度	9,903,054	83,740	9,819,314	0	9,819,314
比 較	1,160,678	534,459	626,219	0	626,219

令和元年度の歳入歳出差引額は10,445,533円で、翌年度へ繰越すべき財源はなく、実質収支額は10,445,533円である。

(2) 歳入

(単位：円・%)

款	区分	令和元年度					平成30年度	対前年度		
		予算現額	調定額	収入済額	構成比	収納率	収入未済額	収入済額	増減額	増減率
財 産 収 入	財 産 収 入	79,000	1,181,346	1,181,346	10.7	100.0	0	1,117,765	63,581	5.7
	繰 越 金	9,769,000	9,819,314	9,819,314	88.8	100.0	0	8,673,825	1,145,489	13.2
	諸 収 入	2,000	63,072	63,072	0.6	100.0	0	111,464	△ 48,392	△ 43.4
歳 入 合 計		9,850,000	11,063,732	11,063,732	100.0	100.0	0	9,903,054	1,160,678	11.7

※収納率は「収入済額÷調定額」の値

収入済額は11,063,732円で、調定額に対する収納率は100%となっている。

財産収入の増は、不動産売払収入の立木売払収入(間伐材)が増加したことによるものであり、諸収入の減は、雑入(事業分量配当金(間伐事業))が減少したことによるものである。

(3) 歳出

(単位：円・%)

区分	令和元年度					平成30年度	対前年度	
	予算現額	支出済額	構成比	執行率	不用額	支出済額	増減額	増減率
総務費	1,260,000	618,199	100.0	49.1	641,801	83,740	534,459	638.2
予備費	8,590,000	0	-	-	8,590,000	0	0	-
歳出合計	9,850,000	618,199	100.0	6.3	9,231,801	83,740	534,459	638.2

※執行率は「支出済額÷予算現額」の値

支出済額は618,199円で、予算現額に対する執行率は6.3%となっている。

総務費の増は、財産区管理費の委託料(財産売却予定地の測量設計等)が増加したことによるものである。

6 財産について

公有財産に関する決算年度中における増減高及び決算年度末残高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

①土地及び建物

区分	土地(地積) (㎡)			建物 (㎡)		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山林	9,084,027	0	9,084,027	0	0	0
畑	272,282	0	272,282	0	0	0
公衆用道路	10,601	0	10,601	0	0	0
雑種地	12,249	0	12,249	0	0	0
宅地	1,913	△ 370	1,543	0	0	0
合計	9,381,072	△ 370	9,380,702	0	0	0

宅地の減は、一町田地区コミュニティセンター改築に伴う建替え用地として、天草市に寄附したことによるものである。

②山林

区分	面積 (㎡)			立木の推定蓄積量 (㎡)		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
所有	9,084,027	0	9,084,027	87,362	1,375	88,737

立木の推定蓄積量の増は、立木の生長による自然増と間伐による減によるものである。

天監第70号
令和2年8月6日

天草市新合財産区管理者
天草市長 中村 五木 様

天草市監査委員 富田 善三郎

天草市監査委員 福岡 耕二

天草市監査委員 赤木 武男

令和元年度天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和元年度天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算書及び同附属書類を審査しましたので、天草市監査基準第14条第4項の規定に基づき意見を提出します。

令和元年度天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

令和元年度天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算
 令和元年度天草市新合財産区特別会計実質収支に関する調書
 令和元年度天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算事項別明細書
 令和元年度天草市新合財産区財産に関する調書

2 審査の期間

令和2年6月26日から令和2年8月6日

3 審査の方法

審査にあたっては、天草市監査基準(令和2年天草市監査委員告示第1号)に準拠し、天草市新合財産区管理者(天草市長)から提出された、天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算書、同実質収支に関する調書、同歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているか、財産の管理は適正か、さらに予算が適正かつ効率的に執行されているか等に主眼をおき、関係諸帳簿及び証拠書類との照合等を行い、審査を実施した。

4 審査の結果

審査に付された天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算書、同実質収支に関する調書、同歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書は、関係法令に適合し、かつ正確に作成されており、決算計数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

5 歳入歳出決算の概要

(1) 決算収支

(単位：円)

区 分	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
令和元年度	1,414,186	43,444	1,370,742	0	1,370,742
平成30年度	1,450,952	36,780	1,414,172	0	1,414,172
比 較	△ 36,766	6,664	△ 43,430	0	△ 43,430

令和元年度の歳入歳出差引額は1,370,742円で、翌年度へ繰越すべき財源はなく、実質収支額は1,370,742円である。

(2) 歳入

(単位：円・%)

区 分 款	令和元年度						平成30年度	対前年度	
	予算現額	調定額	収入済額	構成比	収納率	収入未済額	収入済額	増減額	増減率
財 産 収 入	2,000	0	0	-	-	0	0	0	-
繰 越 金	1,383,000	1,414,172	1,414,172	100.0	100.0	0	1,450,925	△ 36,753	△ 2.5
諸 収 入	2,000	14	14	0.0	100.0	0	27	△ 13	△ 48.1
歳 入 合 計	1,387,000	1,414,186	1,414,186	100.0	100.0	0	1,450,952	△ 36,766	△ 2.5

※収納率は「収入済額÷調定額」の値

収入済額は1,414,186円で、調定額に対する収納率は100%となっている。

(3) 歳出

(単位：円・%)

区分	令和元年度					平成30年度	対前年度	
	予算現額	支出済額	構成比	執行率	不用額	支出済額	増減額	増減率
総務費	281,000	43,444	100.0	15.5	237,556	36,780	6,664	18.1
予備費	1,106,000	0	-	-	1,106,000	0	0	-
歳出合計	1,387,000	43,444	100.0	3.1	1,343,556	36,780	6,664	18.1

※執行率は「支出済額÷予算現額」の値

支出済額は43,444円で、予算現額に対する執行率は3.1%となっている。

総務費の増は、財産区管理費の報酬及び一般管理費の役務費が増加したことによるものである。

6 財産について

公有財産に関する決算年度中における増減高及び決算年度末残高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

①土地及び建物

区分	土地(地積) (㎡)			建物 (㎡)		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山林	382,909	0	382,909	0	0	0

②山林

区分	面積 (㎡)			立木の推定蓄積量 (㎡)		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
所有	382,909	0	382,909	10,261	14	10,275

立木の推定蓄積量の増は、立木の生長による自然増加分である。